『　現場 VIEWER　』

■「現場 VIEWER」とは

電子納品成果品の閲覧ソフトです。XML 形式のデータを Web ブラウザで閲覧することが出来ます。ウィザードに従ってデータの取り込みが行える簡単操作。インストール不要なのでダウンロード後すぐにご利用いただけます。

最新版はダウンロードページより「現場 VIEWER」を選択して無償ダウンロードできるようになっております。

■現場 VIEWER　関連ダウンロード

http://www.genbasupport.com/download/viewer/

また、ダウンロードページでは「バージョンアップ更新履歴」や「簡単操作マニュアル」についてもご案内しています。

● 現場Office　電子納品編集ツールをご利用のお客様
成果品データの出力の際に、「ビューアを成果品として出力する」にチェックをいれて出力すると、成果品と一緒に「GVIEWER」のフォルダも出力されます。インターネットに繋がっているパソコンの場合はバージョンをチェックし、最新版を出力します。

■ダウンロードから閲覧までの簡単な流れ

・STEP1 解凍編

「GVIEWERをダウンロードして解凍するまで」

・STEP2 データ取込み編

1.「成果品情報の取り込み」

2.「フォルダ情報の追加」

・STEP3 データ閲覧編 ～ブラウザ閲覧～

「Internet Explorerでの閲覧方法」

・STEP4 データ閲覧編 ～チェック閲覧～

「Internet Explorerを使用せずに閲覧する方法」

・現場VIEWER ワンポイント

「写真の階層ツリーの変更について」

［　STEP1　解凍編　］

ダウンロードが完了すると「gviewer_free×.×.×.zip」が表示されます。
※「×」はバージョンです。

ファイル上でダブルクリックをすると解凍され「GVIEWER.EXE」が表示されます。
「GVIEWER.EXE」はコピーしてデスクトップに張り付けてください。

※解凍がうまくいかない場合

方法１

「gviewer_free1.12.0.zip」で右クリック＞解凍してみてどうか。

方法２

解凍ソフトをつかって解凍してみてどうか。

※インターネットで検索して頂くとフリーの解凍ソフトがあると思います。

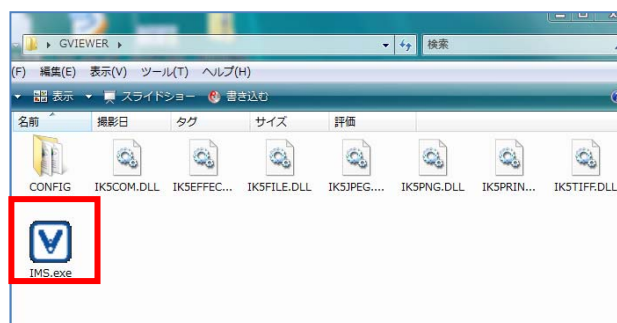
そちらをつかって解凍してみてください。

デスクトップに張り付けた「GVIEWER.EXE」をダブルクリックすると、フォルダの解凍先を聞いてきますので参照よりデスクトップを選択して OK を押してください。

※ダブルクリックするだけで解凍される場合もあります。

解凍が終了するとデスクトップに「GVIEWER」フォルダが作成されます。

［　STEP2　データ取込み編　］

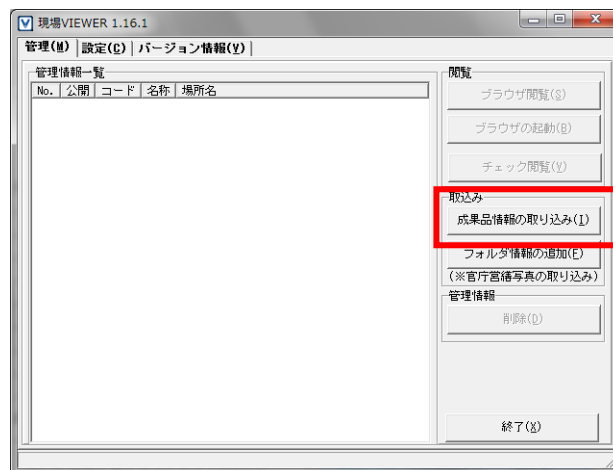
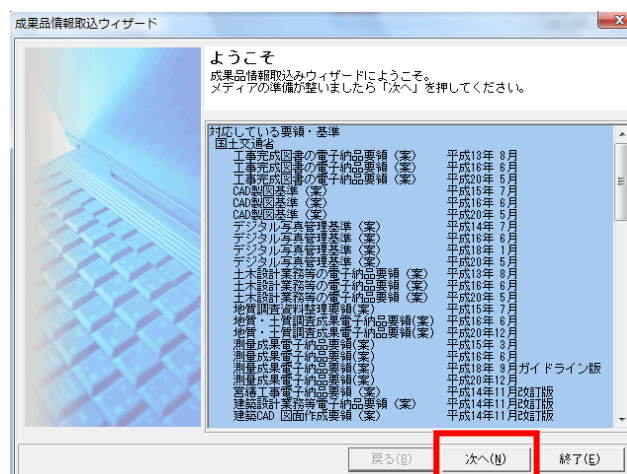
「GVIEWER」のフォルダを開き、
「IMS.exe」をダブルクリックすると
現場 VIEWER が起動します。

Point！　データの取り込み方法について

データの取り込み方法は、二通りあります。

1.　「成果品情報の取り込み」
成果品データの取り込みです。
XML ファイルがある場合に取り込みを行うことができます。

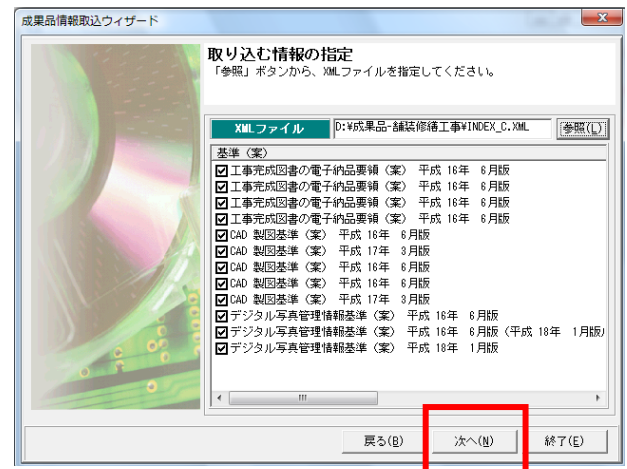
2.　「フォルダ情報の追加」
フォルダ情報の追加は、指定したフォルダを取り込みができます。
営繕工事の写真データや成果品データ以外のデータを取り込みたい場合は
こちらをご利用下さい。

1. 「成果品情報の取り込み」

[成果品情報の取り込み]をクリックし
成果品の取り込みを行います。

最初の画面では対応要領・基準の
一覧が表示されます。
[次へ]をクリックしてください。

取り込む情報の要領基準の指定画面は
自動選択にチェックをいれて[次へ]
をクリックしてください。

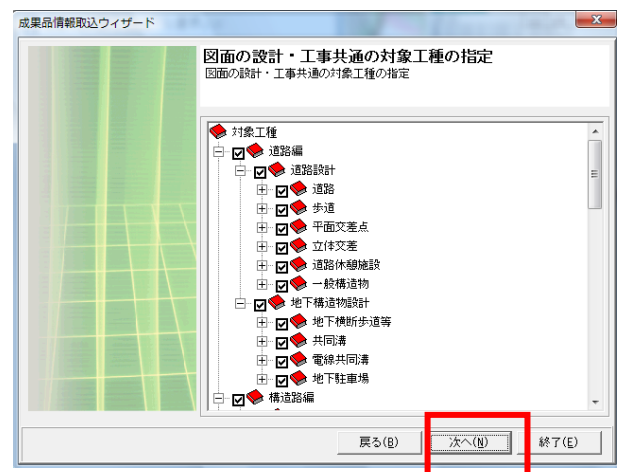
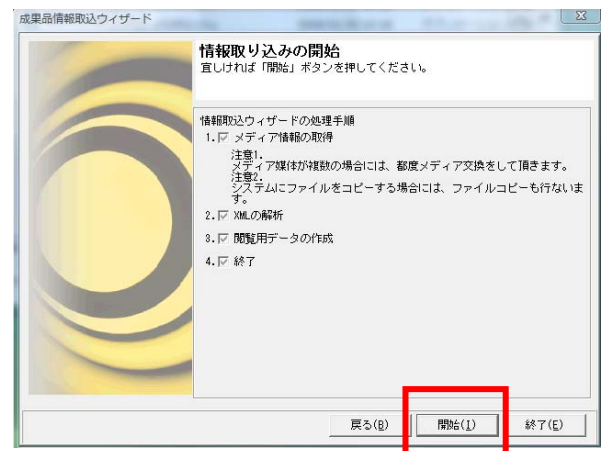
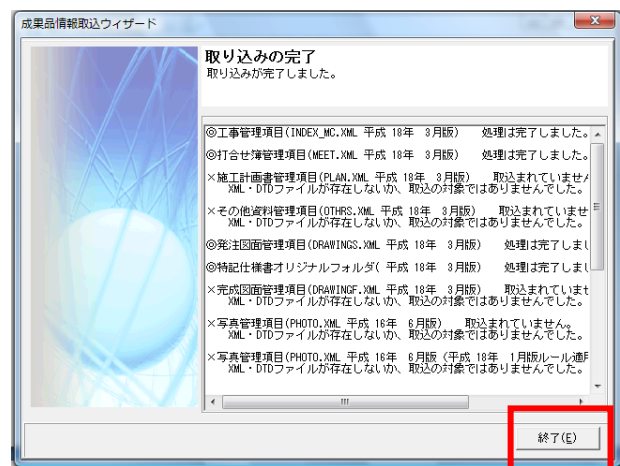
※国交省港湾局の基準案の成果品を取り込む場合
は自動選択のチェックを外して該当の基準案を
選択して進んでください。

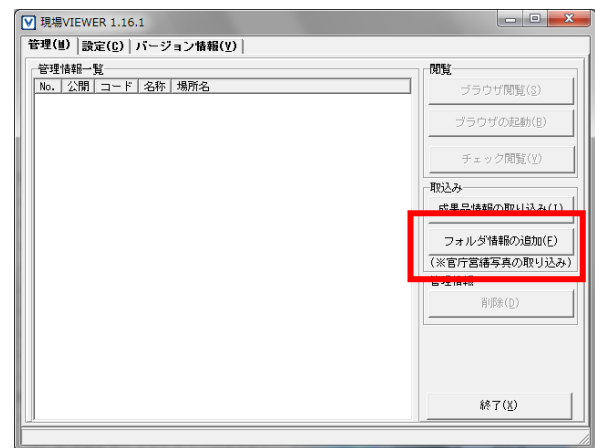
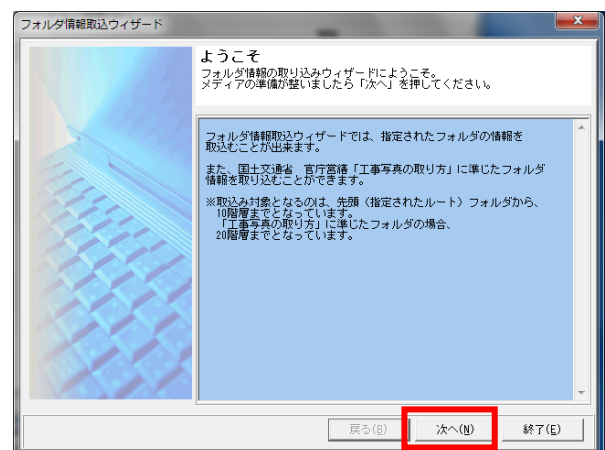
取り込む情報の指定画面では、取り込みたい
成果品データの INDEX ファイルを指定し、
[次へ]をクリックします。

※参照ボタンをクリックすると、ファイルが指定
できます。

ファイルコピーの設定では、成果品データの
オリジナルファイルの取り込み設定が行えます。
CD-ROM からの読み取りの場合はコピーの
必要はありません。

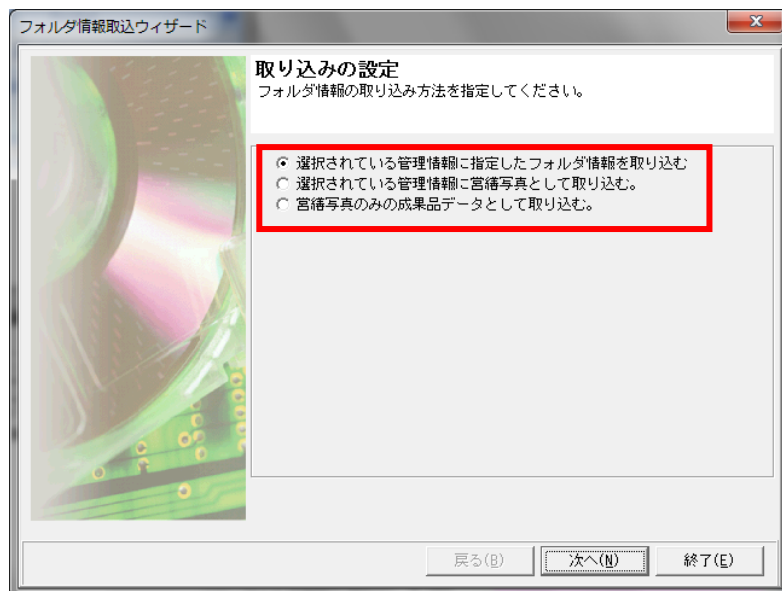
複数枚に CD が分かれている場合、ファイルの
コピーを行うと、CD の入れ替えが必要なくなり
ますのでスムーズに閲覧を行うことができます。

※コピーを行う際には C ドライブに十分に空きがある
ことをご確認ください。

図面の対象工種の指定画面になります。
対象となるものにチェックを入れて[次へ]
をクリックしてください。
※特に図面がない場合はそのままお進みください。

取り込み開始画面になります。
右下の[開始]をクリックしてください。

取り込みが終わると、完了画面が出てきます。
[終了]をクリックしてください。

2. 「フォルダ情報の追加」

[フォルダ情報の追加]をクリックし
フォルダ情報の取り込みを行います。

最初の画面ではフォルダ情報の取り込み
について説明が表示されます。
[次へ]をクリックしてください。

取り込みの設定画面では
「営繕写真のみの成果品データとして取り込む。」
が自動選択されています。
[次へ]をクリックしてください。

※既に取り込んでいる管理情報がない場合だけ
自動選択されています。

Point！　　「フォルダ情報の追加」の取り込み方法

「フォルダ情報の追加」では、取り込み方法が 3 パターンあります。
それぞれ、用途に合わせて取り込みを行ってください。

【① 選択されている管理情報に指定したフォルダ情報を取り込む】
既に取り込んでいる成果品データに成果品データ以外のフォルダ構成を追加したい場合。
※取り込みたい管理情報名を選択している必要があります。

【② 選択されている管理情報に営繕写真として取り込む】
既に取り込んだ「営繕工事電子納品要領（案）」に営繕写真を追加したい場合。
※「営繕工事電子納品要領（案）」で作成した管理情報を選択している必要があります。

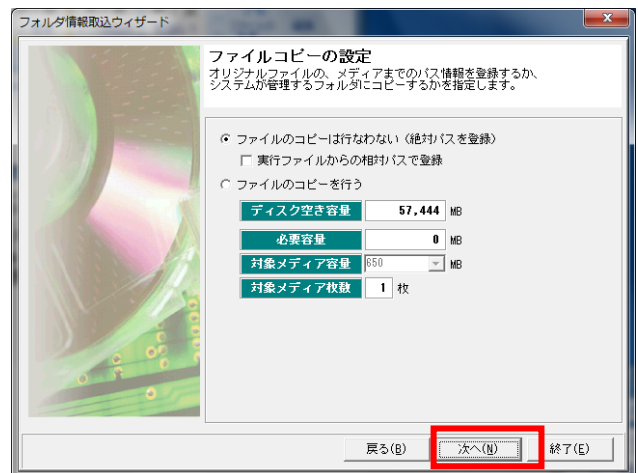
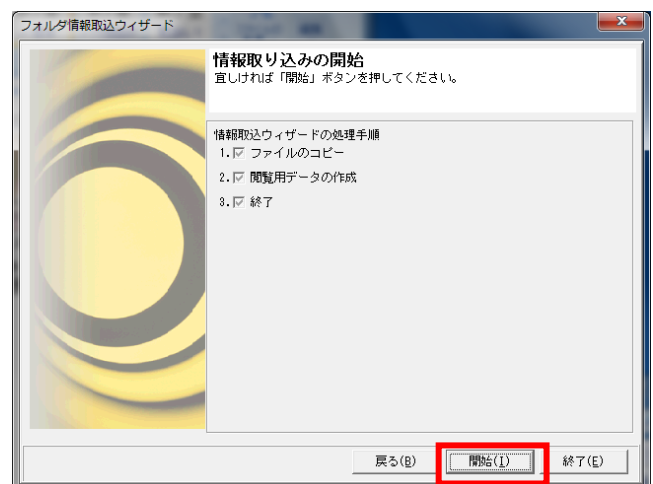
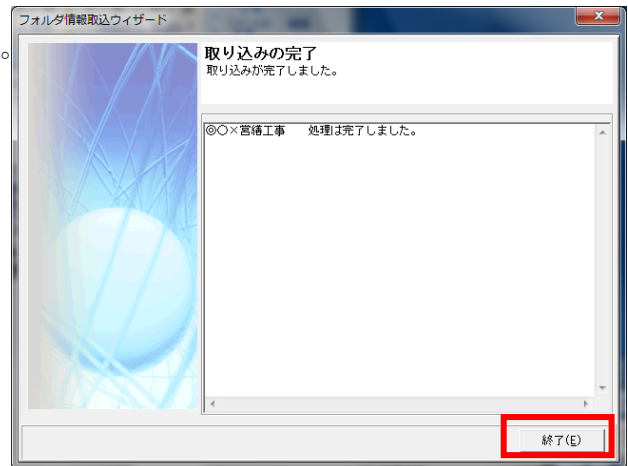
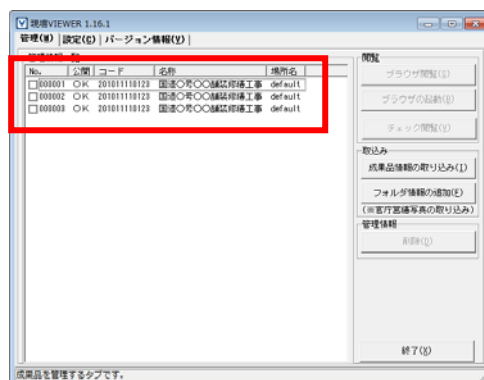
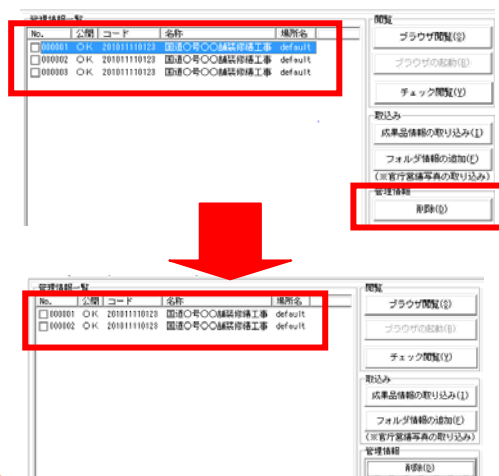
【③ 営繕写真のみの成果品データとして取り込む】
営繕写真を取り込みたい場合。

取込みフォルダの指定画面では
[参照]から取込みたいフォルダを選択し[次へ]
をクリックします。

※参照ボタンをクリックすると、ファイルが指定
できます。

ファイルコピーの設定では、成果品データの
オリジナルファイルの取り込み設定が行います。
CD-ROM からの読み取りの場合はコピーの
必要はありません。

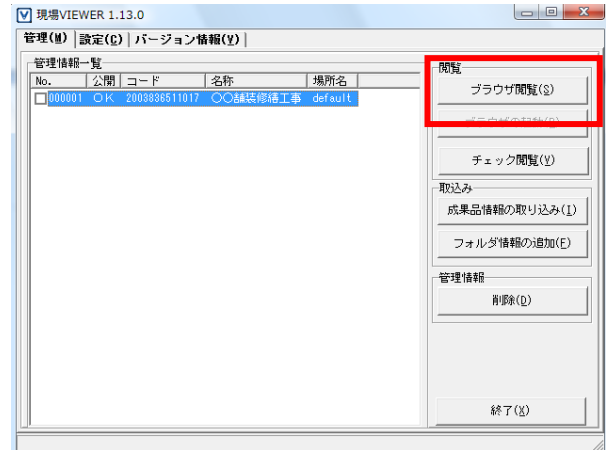
複数枚に CD が分かれている場合、ファイルの
コピーを行うと、CD の入れ替えが必要なくなり
ますのでスムーズに閲覧を行うことができます。

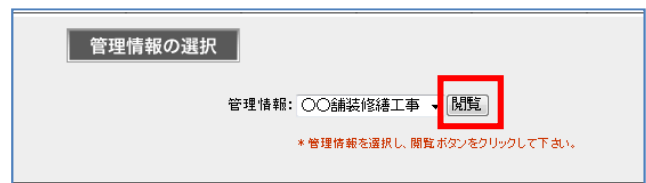
※コピーを行う際には C ドライブに十分に空きがある
ことをご確認ください。

取り込み開始画面が表示されます。
[開始]をクリックしてください。

取り込みが終わると、完了画面が表示されます。
[終了]をクリックしてください。

Point！　管理情報は 3 件まで取り込み可能です

バージョン「1.15.0」から、管理情報は 3 件まで取り込みが可能です！！
土木工事の情報共有システム活用ガイドライン(平成 23 年 4 月版)に基づいて作成される、3 種類の電子データを取り込めるように、取り込み制限数を 1 つから 3 つへと変更しています。

管理情報を削除したい場合は、管理情報名を選択し[削除]をクリックします。

［　STEP3　データ閲覧編　～ブラウザ閲覧～］

　※ブラウザ閲覧はインターネットにつながっていない環境でも閲覧可能です。

取り込みが終わると、管理情報一覧に工事名が表示されます。

管理情報を選択して、「ブラウザ閲覧」をクリックしてください

web ページが開き管理情報の選択画面が表示されます。

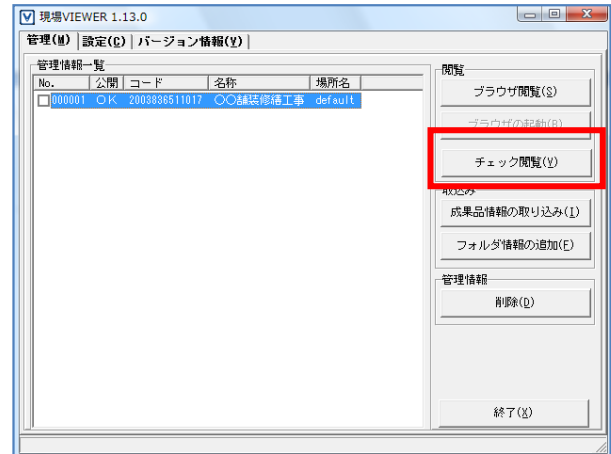
管理情報右側の「閲覧」ボタンをクリックしてください。

閲覧情報のタブが表示されます。

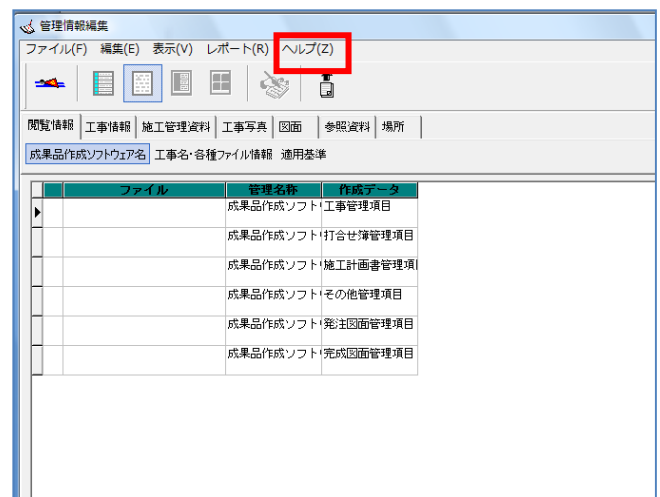
　表示されるタブの内容は以下の通りです。

【タブ名】	【表示される内容】
◇工事管理	→工事管理（INDEX）
◇工事	→写真写真（PHOTO）
◇施工管理資料	→打ち合せ簿（MEET） →施工計画書（PLAN） →その他（OTHRS） →管理台帳（REGISTER）
◇図面	→図面（DRAWINGS・F）
◇参照資料	→営繕の写真情報 ※「フォルダ情報の追加」で読込んだデータです。
◇閲覧情報	→取込んだ情報の詳細

［　STEP4　データ閲覧編　～チェック閲覧～］

管理情報一覧に工事名が表示されます。

管理情報を選択して、［チェック閲覧］をクリックしてください。

チェック閲覧画面が表示されます。

※表示のさせ方等はブラウザ閲覧と変わりありませんが、Webブラウザを介さない為、ネットワーク環境によって閲覧が出来ない場合などにご利用いただけます。

■取扱の詳細について

取扱説明書は、ブラウザ閲覧とチェック閲覧の画面よりご確認頂き、是非ご活用ください。

◇ブラウザ閲覧画面

管理情報選択＞ブラウザ閲覧＞右上の［ヘルプを表示］　よりご確認下さい。

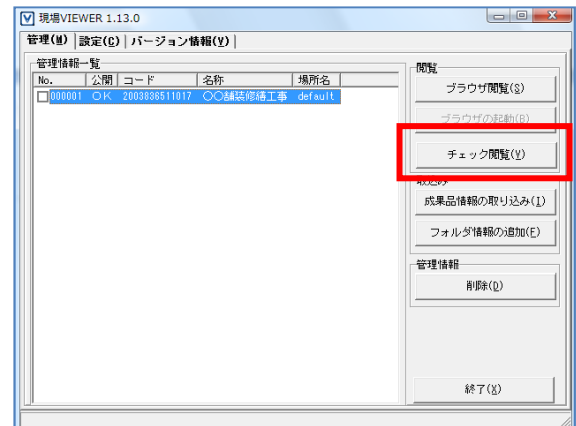
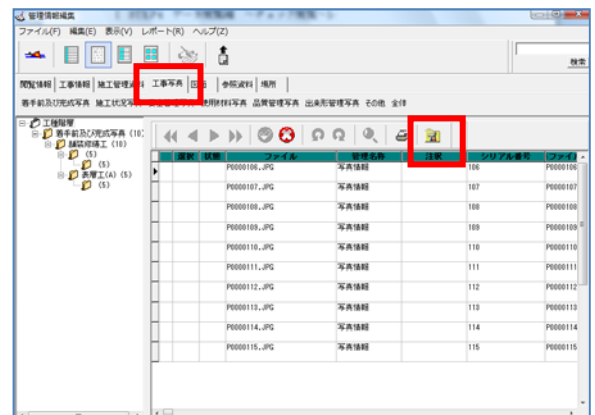
◇チェック閲覧画面

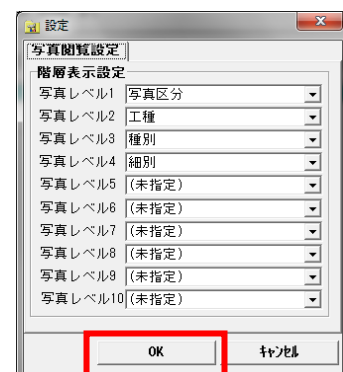
管理情報選択＞チェック閲覧＞メニューバーのヘルプ　よりご確認下さい。

■■現場 VIEWER　ワンポイント!!!■■

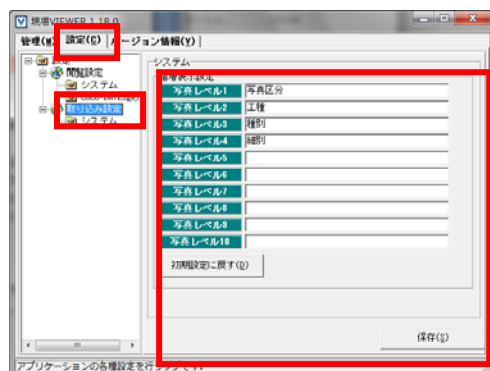
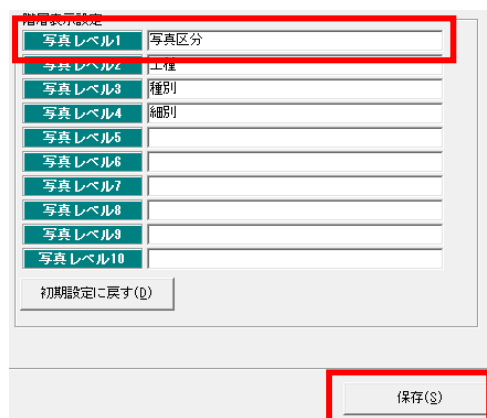
工事写真の閲覧を行う際、左側に表示されるツリー項目を変更したい・・・
そんな時にはチェック閲覧画面より、以下の作業手順で変更可能です。

［作業手順］

管理情報を選択して、［チェック閲覧］
をクリックしてください。

「写真管理」タブをクリックし
「分類情報ツリー設定」のアイコンを
　クリックしてください。
※黄色いフォルダのボタンです。

写真閲覧設定画面が表示されますので
レベル 1～レベル 10 まで設定を行い
「OK」ボタンをクリックしてください。

※Ver1.18.0 より、10 階層の設定が可能です。

この設定後に再度、ブラウザ閲覧をすると、写真の分類情報ツリーが変更されます。

Point！取り込み設定は起動画面からも変更可能です

※この設定は、管理情報を読み込む前に設定が必要です。

起動画面の「設定」タブの「取り込み設定」から設定ができます！！

レベル 1～レベル 10 まで設定ができます。読み込む管理情報の写真項目名を手入力後[保存]をクリックします。

※入力間違いにご注意ください。

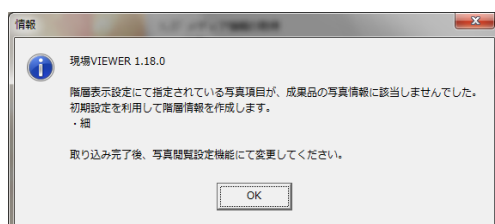
[初期値に戻す]をクリックすると、以下の項目が設定されます。

【初期値の項目】

レベル 1：写真区分

レベル 2：工種

レベル 3：種別

レベル 4：細別

※レベル 1～レベル 10 までの項目は、手入力の為、項目名を間違えると、正常に表示されません。

左図のメッセージが表示される場合は、項目名を確認し入力し直してください。